第1学年　第4回テスト　社会科　模範解答・解説

定期テスト予想問題（リメイク版）／100点満点／全58問・全問記号選択

知識・技能（60点）

知技 1　奈良時代　（2点×7＝14点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	イ	2	710年に奈良に移された都は平城京。藤原京はその前（694年）の都、平安京は794年以降の都、大津宮は飛鳥時代の都で、いずれも時期が合わない。
(2)	ア	2	口分田を割りあて死後に国へ返させる制度が班田収授法。イ・ウは開墾地の私有を認める法令、エは土地を区画する方法で、口分田の支給制度ではない。
(3)	ウ	2	都での年10日の労役の代わりに布を納めるのが庸。租は稲（収穫の約3%）、調は地方の特産物、雑徭は地方での労役で、布の代納ではない。
(4)	エ	2	国司のもとで年間60日以内の労役につく負担が雑徭。租・調は物を納める税、庸は都での労役の代納であり、地方の労役そのものを指さない。
(5)	ウ	2	743年に開墾地の永久私有を認めたのが墾田永年私財法。イの三世一身法（723年）は3代までの私有で「永久」ではなく、ア・エは土地私有の法令ではない。
(6)	エ	2	金銅の大仏が安置されたのは東大寺。唐招提寺は鑑真が開いた寺、法隆寺は飛鳥時代の寺、薬師寺にも金銅の大仏はない。
(7)	ウ	2	農民や防人の歌までおさめた和歌集は万葉集。古事記は歴史書、風土記は地誌、古今和歌集は平安時代の和歌集である。

知技 2　平安時代　（2点×6＝12点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	ウ	2	794年に都を京都へ移したのは桓武天皇。聖武天皇は奈良時代に大仏をつくらせた天皇、天武天皇・推古天皇はさらに古い時代の天皇である。
(2)	イ	2	桓武天皇が定めた都は平安京。平城京は奈良の都、長岡京は784年に移されて短命に終わった都、紫香楽宮は聖武天皇の離宮である。
(3)	イ	2	征夷大将軍として東北に送られたのは坂上田村麻呂。阿倍仲麻呂は唐で一生を終えた留学生、藤原不比等は奈良時代の政治家、和気清麻呂は都の造営に関わった人物である。
(4)	エ	2	高野山金剛峯寺・真言宗は空海。最澄は天台宗で宗派と寺が異なり、鑑真・行基はともに奈良時代の僧である。

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(5)	ア	2	比叡山延暦寺・天台宗は最澄。エの空海は真言宗で寺も高野山であり、イ・ウは奈良時代の僧である。
(6)	ウ	2	かな文字や大和絵に代表される文化が国風文化。天平文化は奈良時代、飛鳥文化・白鳳文化はさらに古く、いずれもかな文字は使われていない。

知技 3 **アジア州** （2点×6＝12点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	**ア**	2	中国の人口の約9割を占めるのは漢族。イ〜エはいずれも55の少数民族にふくまれ、合わせても約1割にすぎない。
(2)	**イ**	2	夫婦の子どもを一人に制限したのが一人っ子政策。ア・ウは計画的な生産・増産をめざす政策、エは外国の資本や技術を導入する政策で、人口抑制が目的ではない。
(3)	**ウ**	2	北部を流れ小麦栽培がさかんなのは黄河。長江は南部で稲作がさかんな川、メコン川は東南アジア、ガンジス川はインドの川で中国北部ではない。
(4)	**ア**	2	東南アジアの国々の地域協力機構はASEAN。APECはアジア太平洋地域の経済協力会議、OPECは産油国の組織、NATOは北大西洋の軍事同盟である。
(5)	**イ**	2	植民地時代につくられた輸出向けの大農園がプランテーション。焼畑農業・遊牧は自給的な農牧業、混合農業はヨーロッパの農業で、輸出用の大農園ではない。
(6)	**ウ**	2	ベンガルールで成長したのはICT（情報通信技術）産業。ア・イ・エはいずれも工業で、ソフトウェア開発を行う産業ではない。

知技 4 **ヨーロッパ州** （2点×6＝12点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	**イ**	2	ヨーロッパの統合を進める組織はEU。ASEANは東南アジア、AUはアフリカ、USMCAは北アメリカの組織で地域が異なる。
(2)	**ウ**	2	EUの共通通貨はユーロ。ドルはアメリカ、ポンドはイギリス、フランはユーロ導入前のフランスの通貨であり、共通通貨ではない。
(3)	**イ**	2	氷河が削った谷に海水が入った湾がフィヨルド。リアス海岸は川が刻んだ谷が沈んでできた地形、三角州は河口の堆積地形、カルスト地形は石灰岩が溶けた地形で、氷河とは関係がない。
(4)	**エ**	2	複数国を流れて北海に注ぐ国際河川はライン川。ドナウ川は黒海に注ぎ、セーヌ川はフランス国内、テムズ川はイギリス国内の川である。
(5)	**ウ**	2	夏の乾燥に強い作物と冬の小麦を組み合わせるのが地中海式農業。混合農業は穀物と家畜、酪農は乳牛、園芸農業は野菜・花で、地中海の気候に合わせた農業ではない。
(6)	**イ**	2	郊外で自動車を停めて公共交通に乗りかえるしくみがパークアンドライド。モーダルシフトは貨物輸送の転換、コンパクトシティは都市機能の集約、ジオパーク

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
			は地形の保全であって乗りかえのしくみではない。

知技 5 **用語と人物** （1点×10＝10点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	**キ（酸性雨）**	1	排煙や排出ガスの硫黄・窒素酸化物が雨にとけて森林や建物をいためる被害。地球温暖化やオゾン層破壊とは原因・被害が異なる。
(2)	**サ（アルプス山脈）**	1	スイスを中心に東西に連なる若い険しい山脈。語群のオ（ドナウ川）は河川であり山脈ではない。
(3)	**イ（OPEC）**	1	石油輸出国機構で、産油国が生産量や価格を調整する組織。知技3(4)のASEANやAPECは石油の調整を行わない。
(4)	**ケ（経済特区）**	1	シェンチェンなど沿岸部に設けられ、税を軽くして外国企業を誘致した地区。一人っ子政策は人口政策であり、地区ではない。
(5)	**エ（遣唐使）**	1	唐の制度・文化を学ぶため約200年にわたり派遣された使節。鑑真は逆に唐から来日した僧であり、送られた使節ではない。
(6)	**シ（菅原道真）**	1	894年に遣唐使の停止を提案した人物。語群の人物のうち、遣唐使の廃止を建議したのは道真だけである。
(7)	**カ（荘園）**	1	貴族や寺社が開墾・寄進によって広げた私有地。公地公民のもとで割りあてられた口分田とは性質が異なる。
(8)	**ウ（寝殿造）**	1	平安時代の貴族の屋敷に用いられた日本風の建築様式。書院造は室町時代以降の様式で時代が合わない。
(9)	**ア（源氏物語）**	1	紫式部によるかな文字の長編小説。語群のコ（枕草子）は清少納言の随筆で、作者も文章の種類も異なる（未使用の選択肢）。
(10)	**ク（鑑真）**	1	何度も渡航に失敗しながら来日し、唐招提寺を開いて戒律を伝えた僧。空海・最澄は平安時代に日本から唐へ渡った僧である。

> ※知技5の未使用の選択肢は**オ（ドナウ川）・コ（枕草子）**の2つ。

思考・判断・表現（40点）

考1 律令国家の税 （2点×6＝12点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	イ	2	荷札や記録に使われた細長い木の札が木簡。短冊は和歌を書く紙、絵巻物は絵と文の巻物、高札は江戸時代の掲示板であり、荷札には用いられない。
(2)	イ	2	「堅魚」は伊豆国の特産物であり、地方の特産物を納める調にあたる。租は稲、庸は布、雑徭は労役であって、特産物を納めるものではない。
(3)	ウ	2	調などを都まで自分たちで運んだ人々が運脚。防人は九州、衛士は都の警備にあたる兵士、駅家は交通路の施設であり、運搬にあたる人々ではない。
(4)	ア	2	天平十八年（746年）は聖武天皇の時代で、国分寺・国分尼寺を建てさせた。桓武天皇は平安京、天武天皇・推古天皇はさらに古い時代の天皇である。
(5)	イ・ウ・エ（完答）	2	堅魚はかつおの加工品なのでイは正しく、「伊豆国 賀茂郡 三島郷」から地域（ウ）、「天平十八年 十月」から年月（エ）が読み取れる。アは税が地方から都へ運ばれるので逆、オは品物が堅魚なので誤り。
(6)	ウ	2	成人男子には衛士・防人として都や九州を守る兵役があったのでウが正しい。アは負担は成人男子のほうが重く、イは負担は重く、エは逃亡する農民が多かったので誤り。正しい文があるのでオではない。

※(5)は「イ・ウ・エ」の3つがそろって初めて2点（1つでも欠けたり余分があれば0点）。

考2 藤原氏の政治 （2点×5＝10点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	イ	2	「望月の歌」は藤原道長がよんだ歌。藤原頼通は道長の子、藤原純友は瀬戸内で反乱を起こした人物、藤原不比等は奈良時代の政治家であり、いずれもこの歌の作者ではない。
(2)	ウ	2	「欠けたることもなし」と満月にたとえており、思いどおりに権力を得た満足感を表している。ア・イ・エはいずれも「不足がない」という内容と合わない。
(3)	ア	2	藤原氏は娘を天皇のきさきとし、その子を天皇に立てて外祖父として実権をにぎった。イは武士の政権のしくみ、ウ・エは史実にない内容である。
(4)	イ	2	摂政・関白として実権をにぎる政治が摂関政治。院政は上皇、執権政治は鎌倉幕府の北条氏、親政は天皇自身による政治で、担い手が異なる。

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(5)	ア	2	道長の子の頼通が宇治に建てたのが平等院鳳凰堂。中尊寺金色堂は奥州藤原氏が平泉に建て、慈照寺銀閣は室町時代、東大寺南大門は鎌倉時代の建築である。

考3 東南アジアの輸出の変化 （1点×6＝6点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	ウ	1	1988年は木材・石油など一次産品が中心、2022年は機械類が42.1%で工業製品中心になった。アは変化が逆、イは上位品目が入れかわっており誤り、エは輸出総額が209億→3522億ドルと増えているので誤り。
(2)	ア	1	3522億ドル×42.1%＝約1483億ドルなので約1480億ドル。ウは約1割、イは約2割強にあたる額、エは輸出総額そのものの額で、計算と合わない。
(3)	イ	1	少数の一次産品の輸出に依存する経済がモノカルチャー経済。ア・ウは経済のしくみ全体を指す語、エは原料を輸入して製品を輸出する貿易の形で、依存の状態を表さない。
(4)	ウ	1	パーム油は10.3%→4.8%と下がっているのでウが誤り。アは209→3522億ドル（約16.8倍）、イは約1483億ドル＞209億ドル、エは42.1%でいずれも正しい。
(5)	エ	1	14.9＋13.6＋12.0＋10.3＝50.8%なので約5割。ア〜ウはいずれも合計の値より小さく、表の数値と合わない。
(6)	イ・ウ（完答）	1	両年に挙げられているのは機械類とパーム油。木材は1988年のみ、液化天然ガスと石油製品は2022年のみに挙げられている。

※(6)は「イ・ウ」の2つがそろって初めて1点。

考4 ヨーロッパの統合と自然環境 （2点×6＝12点）

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(1)	イ	2	91,200÷10,800＝約8.4倍なので8倍以上。アは東ヨーロッパの2国が最も低いので逆、ウは約8.4倍の差があるので誤り、エはドイツ－フランス＝8,800、ポーランド－ブルガリア＝6,000で差が大きいほうなので誤り。
(2)	ウ	2	賃金の低い東ヨーロッパから高い西ヨーロッパへ働きに行く人が増え、送り出す側で働き手が不足している。アは失業はなくなっておらず、イはEUは関税を撤廃しており、エは移動の向きが逆である。
(3)	ア	2	暖流の北大西洋海流の上を偏西風がふき、暖かい空気を内陸へ運ぶため冬も温暖。イは寒流・季節風で条件が合わず、ウは高緯度なので誤り、エは山脈は南側（アルプス）にあり北風をさえぎらない。
(4)	オ	2	アはシェンゲン協定で国境検査なしに移動できるので誤り、イはデンマークなど未導入国があり誤り、ウはイギリスは2020年に離脱済みで誤り、エは本部はベルギーのブリュッセルで誤り。したがって正しいものはなくオ。

設問	解答	配点	解説（正答の理由／誤答の理由）
(5)	**エ・オ** **（完答）**	2	2万ドル未満はポーランド16,800ドルとブルガリア10,800ドル。ルクセンブルク・ドイツ・フランスはいずれも4万ドルを超えている。
(6)	**エ**	2	化石燃料の使用を減らして二酸化炭素の排出をおさえ、地球温暖化を防ぐことが目的。アは価格が安いなら転換の理由にならず、イは目的が異なり、ウはすべてを風力に切りかえる計画はない。

> ※(5)は「エ・オ」の2つがそろって初めて2点。

配点の確認

知識・技能　知技1（2点×7＝14）＋知技2（2点×6＝12）＋知技3（2点×6＝12）＋知技4（2点×6＝12）＋知技5（1点×10＝10）＝**60点／35問**

思考・判断・表現　考1（2点×6＝12）＋考2（2点×5＝10）＋考3（1点×6＝6）＋考4（2点×6＝12）＝**40点／23問**

合計　100点／全58問（すべて記号選択）